

とつと通信

2020年9月23日発行

210号

「とつと通信」は
田舎でとつと。
いつも読んでくださ
い。

こんにちは！平川です。朝夕とずいぶん涼しくなりました。季節の変わり目は体調を崩しやすいので、お気を付け下さい。
では今月もはりきっていきましよう！

福岡大渇水

コロナの影響で、生活のあらゆる事が制限されて、半年が過ぎました。そろそろカンベンして欲しいところですが、私ふと思いついたのです。遠い昔にも似たような出来事があった事を。福岡大渇水ってご存知ですか。今から42年前、昭和53年、福岡にお住まいだった方は、遠い記憶にあると思います。その



年は異常なほど、雨が少なくて、九州北部は深刻な水不足に見舞われました。なんと昭和53年5月から翌年3月まで、287日間にわたって給水制限が行われたのです。一日5時間しか水が出ない日もありました。そのため毎日来る給水車には長蛇の列、お風呂も

行水程度しか出来ず、特に水洗トイレは大変でした。ポリバケツに汲んだ水を毎回ヒシクで流していました。そして大学は休校となり、水を大量に使う理髪店や飲食店では、余儀なく廃業に追い込まれた店舗も少なくなかったようです。(ウキペディアより)今のコロナと状況が似ています。当時私は、中学生で部活は水泳部でした。飲み水が不足している訳ですから、プールの水の入れ替えなんて、とんでもありません。するとプールは、2週間もしないうちに、藻やコケが大量発生し、みるみる水は、青汁のようになりま

した。私たち水泳部は、中体連に向け、練習を休むわけにはいかず、アメンボが沢山いる中、臭いもする中で泳ぎました。しかしその甲斐もなくなり、その年の水泳の中体連は、全面中止となったのです。こんなことなら、なぜあの練習で、あの試合で、もっと全力を尽くさなかったのかと、後悔しました。それから数ヶ月後、給水制限が解除

され、透き通った水が、大量にプールへ注ぎ込まれるのを見た時、「こんなきれいな水で泳げるのは、当たり前じゃないんだ」と感動したのを覚えています。同じように今回のコロナからも「今まで当たり前だと思っていた事が、実は当たり前ではなかった」と色々気づかされました。本当に大切なものは、失って初めて気づくものです。

さて、ここからは他愛もない話です。中体連の中止が決まったのち、水泳部は、来年に向け基礎体力をつけるため、毎日走り込みました。その間、プールはそのままで、水はさらに深い緑色へと変化していきま

した。そして数ヶ月後、給水制限が解除され、待ちに待ったプールの水の入替え日が決まりました。そして顧問の先生から呼ばれて一言。「その日までに、プールをきれいに掃除しておくように。」まじですが、底にたまった藻を自分たちで掃除するのですか。部員はわずか10名程しかいません。かなり重労働です。が、どうせやるなら楽しんでほしい。そこで考えたのが、5円と10円をプールに撒くことでした。500円分ぐらいだったと思います。

掃除をしながら、宝探しをすることにしたのです。そして当日、言いました。「プールに沢山のお金を沈めると。見つけたもんが、もらってよか」と。うおおおー！まじですか！と我先にとデッキブラシを取り、ツルツル滑る中、大掃除が始まりました。もちろん私も一緒に。おっ、10円みっけ！よかね、そのうちヘッドスライディングをして探す部員も出てきました。結局、私たちは、藻だらけになりながら、楽しく掃除を終えました。

今思えば、5円と10円でそこまでハッスル出来るとは。可愛い時代もあったなと、なつかしく思います。

大人はウソをつく
嘘つきは泥棒の始まりと幼い頃から言われ、育てられました。でも大人の嘘をつきます。しかも大切な人。あなたは誰かを守るために嘘をついたことはありませんか？メールに動画を紹介しています。宜しければご覧下さい。



発行／有限会社アサム
〒819-1127 福岡県糸島市有田中央 2-14-36
Tel: 092-321-4001 Fax: 092-321-4002
・専門学校&スクールサーチ: <http://www.asamnet.jp/>
・ブログ: <https://itorinri.com/>